

自然観察学習館 ニュースレター

2019年1月号

新年あけましておめでとうございます。本年も自然観察学習館をよろしくお祈りいたします。

自然観察学習館の隣にある「もみの池」で美しい紅葉を見せていたメタセコイアも落葉し、開花の時期をむかえました。

見つけてみよう！メタセコイアの花

「木に花が咲く？」とイメージできない人も多いと思いますが、メタセコイアをよく観察すると、小さな何かが垂れ下がっているのが見つけられます。じつはこれが花（雄花）なのです。

メタセコイアは風で花粉を飛ばすので、花粉を運んでくれる虫を呼び寄せるために花を派手にする必要はありません。風で花粉を飛ばすタイプの花は地味なものが多いので、花だと思わない人も多いようです。

きれいな花は進化の賜物！

花粉をいかに仲間のもとに届けるかは次世代の命であるタネを作るうえでもっとも重要なことです。

進化において原始的なメタセコイアなど裸子植物では、風で花粉を運ぶものが多く、花に花粉が届くかどうかは運任せでした。のちに地球上に現れた被子植物では、花粉を確実に花へ届けるため、花粉や蜜をエサとして昆虫に提供する代わりに、花粉の一部を花へ運んでもらうものが増えました。

いい香りがし、きれいな花を咲かせるのは、人のためではなく、昆虫に花があることをアピールするために進化したのです。

企画展「越冬する昆虫たち」

+ 副展示「寒い冬をこす木の芽たち」

12月に引き続き、昆虫の越冬の世界を紹介しています。また、昆虫に対して、植物はどのように冬を越すのでしょうか。副展示として「冬を越す木の芽たち」の展示も行っております。植物の工夫はどこにあるのかをみてください。

自然観察学習館

〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園1-1

TEL: 06-6877-6923

✉ アドレス: expo70gakusyu@cronos.ocn.ne.jp

地味...

風が花粉を運ぶ



メタセコイアの花

派手！！



サザンカの花

虫が花粉を運ぶ

お抱え宅配屋さんを持つ イヌビワ

イヌビワという木では、花囊(かのう)という実のような膨らみの中に花が咲いています。

イヌビワコバチという虫はこの花囊の中を家として暮らしています。成虫になったイヌビワコバチは産卵のため、別の花囊にもぐり込むのですが、その時に花粉が運ばれます。

イヌビワは家をコバチに提供し、コバチは花粉を運ぶ共生関係になっています。

この共生関係は、普通に花を咲かせた場合の別種の花に花粉が運ばれる可能性をなくしていません。確実に花粉を届けることに特化した進化の形と言えるでしょう。



【今月の行事】

12日(土) たこを作って上げよう
野鳥観察会

13日(日) 越冬昆虫の観察会

26日(土) 野鳥観察会

※すべて事前申し込み不要です。